

知ってる!?


平成27年度に新青森～新函館（仮称）間が開業


北海道新幹線

HOKKAIDO SHINKANSEN





現在開通に向けて工事が進んでいる北海道新幹線の概要についてご存知でしょうか？2年後には、新青森～新函館（仮称）の開業が予定されており、東京や東北までの移動が早くなることから、道南地域の交流人口の増加が見込まれています。

 北海道新幹線は昭和48年に整備計画が決定し、平成17年に新青森～新函館間が着工。平成27年度末の開業を予定しています。札幌延伸に関しては平成24年8月に着工、平成47年度の開業を目指して工事が進められているところです。新青森～新函館間には奥津軽（仮称）駅、木古内駅があり、新函館（仮称）駅は現在の函館駅から北へ18 km離れた渡島大野駅（北斗市）の場所に新設される予定となっています。

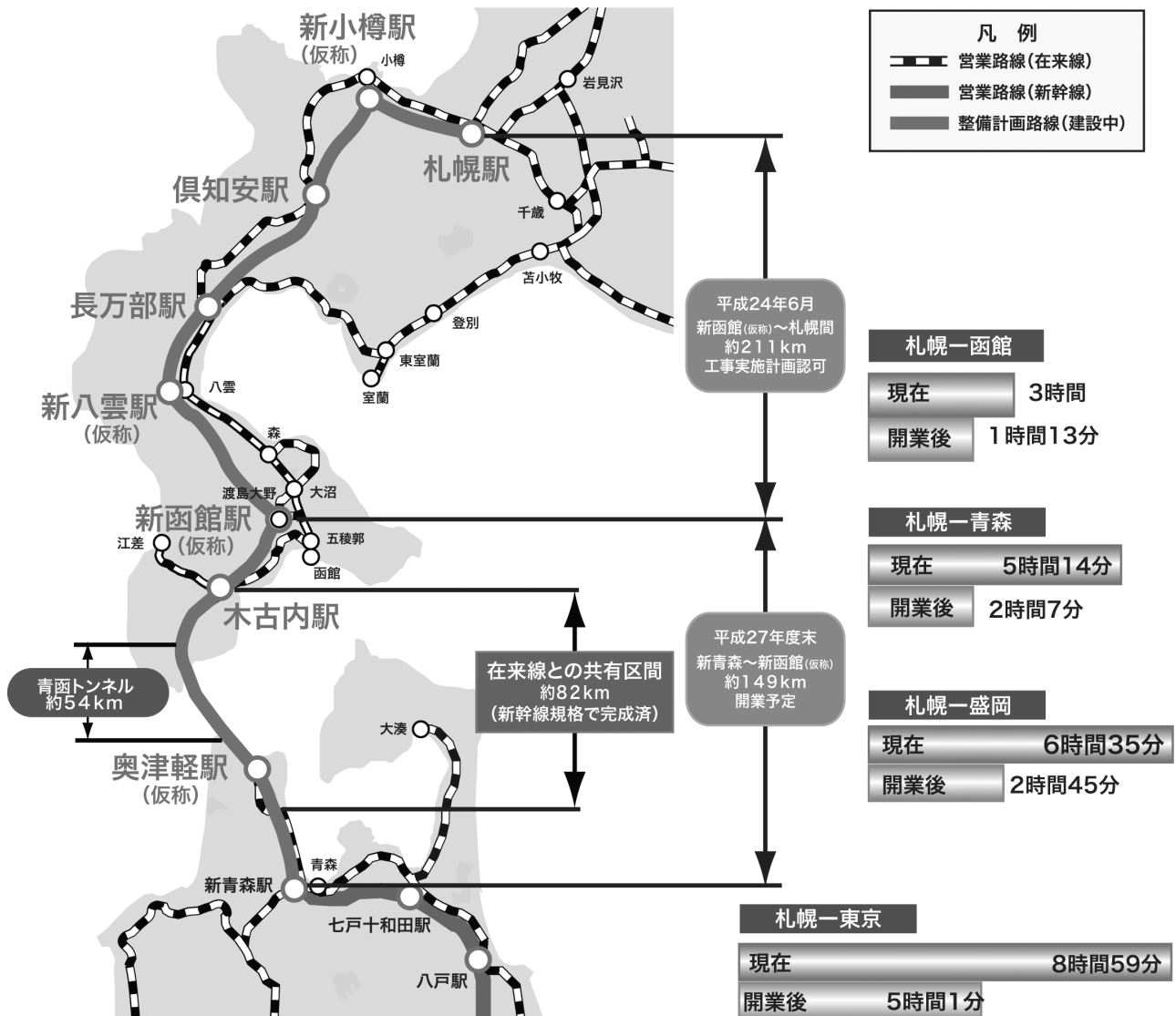
 新幹線の魅力と言えばそのスピードです。現在、函館～東京間は最速で5時間30分ほどかかりますが、開業後は4時間10分になると試算されています。さらに仙台へは現在約3時間50分かかっていますが、開業後は約2時間30分になる予定です。いずれも

青函トンネル内の減速運転（すれ違う際の風圧で貨物列車が脱線するなどの危険性から）を想定した数値であるため、今後、トレイン・オン・トレイン（貨物列車を専用車両に搭載して新幹線と同じレールを走行するシステム）などの開発が進めば、さらに20分間の時間短縮が可能となります。

 こうして新幹線が開通すること、北海道への旅が便利に、しかも早くなるということは、多くのお客さんが北海道へ訪れることになります。そのため、各地では観光客の受入体制の整備や充実に力を入れ、開通後の交流人口増加に向けた対策に余念がありません。もちろん、せたな町でも観光協会を中心に受入体制の充実を図っているところですが、新幹線が通る通らないで地域の温度差があるのも事実で、なかなか新幹線が来ることを実感できないでいる方も多くいます。

 今年4月から檜山振興局にも新幹線対策推進室が設置されるなど、私たちの周りでも開業に向けた動きが活発になってきており、北海道にやってきたお客さんをどのように周遊させ、地域の活性化につなげるかを考えていかなければなりません。

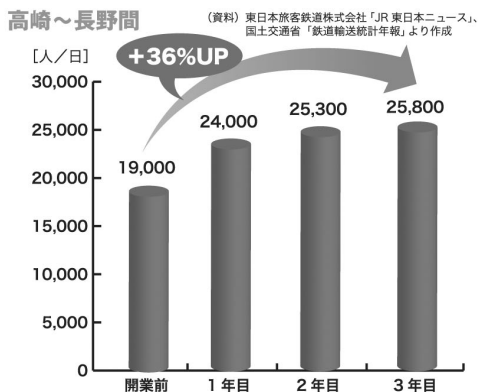
北海道新幹線の概要



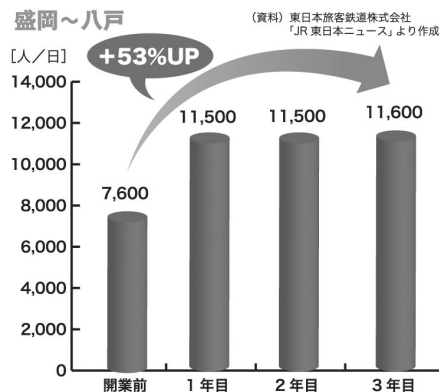
※現在時間はH24年4月時点最速値、開業後時間は国土交通省資料を参考

他地域の開業後の利用状況

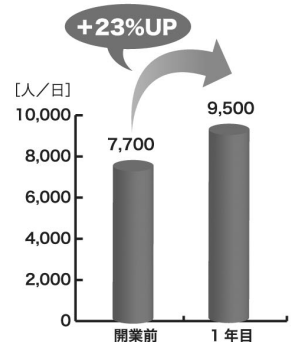
北陸新幹線「あさま」



東北新幹線「はやて」



八戸～新青森 (資料) 東日本旅客鉄道株式会社「プレスリリース」より作成



開業後はほとんどの地域で利用者が増加していることから、北海道を周遊されるお客さんも増えるはず…